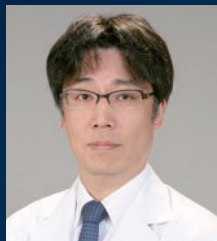


大阪大学医学部附属病院循環器内科学における 拡張型心筋症の診療のご案内



診療科長 坂田 泰史

当院は心臓移植実施施設ではありますが、重症例に限らず拡張型心筋症の診療に力を入れています。ぜひ、拡張型心筋症が疑われる患者さんをご紹介します。鑑別診断、全身合併症の評価を行い、予後予測、治療方針を提示させていただきます。当科にて治療の最適化を受けた拡張型心筋症患者さんの約45%に心機能の改善を認めています。

下記の条件に合致する症例はご紹介ください。

- ☐ 年齢70歳未満である。(70歳以上の場合、病状に応じご相談ください)
- ☐ LVEF<40%でかつ虚血性心筋症が否定されている。
- ☐ 当院での精査・加療を希望されている。

連絡先

〔 外来受診希望 〕 診療予約：ネットワーク部(平日 9～17時)

TEL 06-6879-5080 FAX 06-6879-5081

〔 担当医師との直接相談 〕 循環器内科ハートコール

TEL 06-6816-3200

* 搬送が困難な症例は往診のうえ、搬送方法も相談させていただきます。

拡張型心筋症の診療連携

日常診療・初期対応



かかりつけ医療機関

初回精査入院・定期的なフォロー



大阪大学医学部附属病院

紹介

詳細なレポート
具体的な治療方針提示

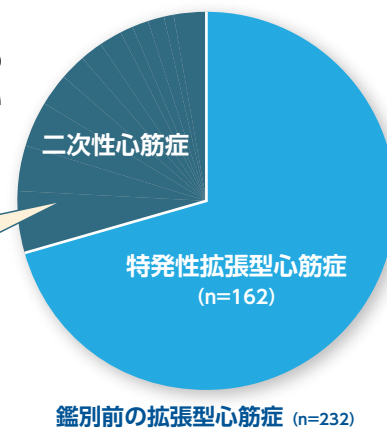


大阪大学医学部附属病院
Osaka University Hospital

拡張型心筋症と二次性心筋症の鑑別

拡張型心筋症に類似しているものの、原因疾患が存在し、原疾患の治療により改善する可能性のある二次性心筋症の鑑別を重要視しています。右図に示しますように、当院に拡張型心筋症疑いにて紹介された症例のうち、約3割は詳細な鑑別診断の後に二次性心筋症と診断しています。

高血圧性心疾患 (n=12)	好酸球性心筋炎 (n=5)	甲状腺クリーゼ (n=3)
心サルコイドーシス (n=9)	膠原病随伴 (n=5)	筋ジストロフィー保因 (n=3)
薬剤性心筋症 (n=9)	頻脈誘発性 (n=4)	不整脈原性右室心筋症 (n=2)
心アミロイドーシス (n=6)	産褥性心筋症 (n=3)	



拡張型心筋症の診断・治療、そして克服に向けた取り組み

診断

複数の画像診断を組み合わせることでより正確な診断・病態把握を行います

虚血性心疾患の除外に限らず、二次性心筋症の鑑別を丁寧に行います。実際、原疾患の治療が可能な二次性心筋症と診断し、心機能が改善する症例があります。当科では診断・予後予測のために心臓カテテル検査、RI検査、MRI検査など各種画像検査に加え、心筋病理検査を有効に活用しています¹⁾。

治療

患者さんにあった個別化医療の提供を行います

拡張型心筋症は、病態、重症度、治療に対する反応性、他臓器合併症の有無等はさまざまです。当科ではこれら臨床表現型を詳細に分類することで、患者さんに最もふさわしい内科的・外科的治療を選択していきます。これまでに、当科で何らかの最適化を受けられた患者さんの約45%に心機能の改善を認めています。

研究

拡張型心筋症の原因を追究し未来の診療につながる研究を行います

依然として、多くの拡張型心筋症は原因が不明です。日本医療研究開発機構 (AMED) が主導する臨床ゲノム医療データベース事業や、未診断疾患の原因究明プロジェクト-未診断疾患イニシアチブ (IRUD) に、循環器主要拠点施設として参画し、既に約500例の遺伝性心血管疾患症例のゲノム情報データベースを作りました。基礎研究からの知見²⁻⁴⁾も合わせ、未来につながる新しい薬剤・画像診断・医療機器を目指した研究開発を行っています。将来的には最適化された治療法を提案することで、QOL、予後を改善できる治療の実践を目指しています。

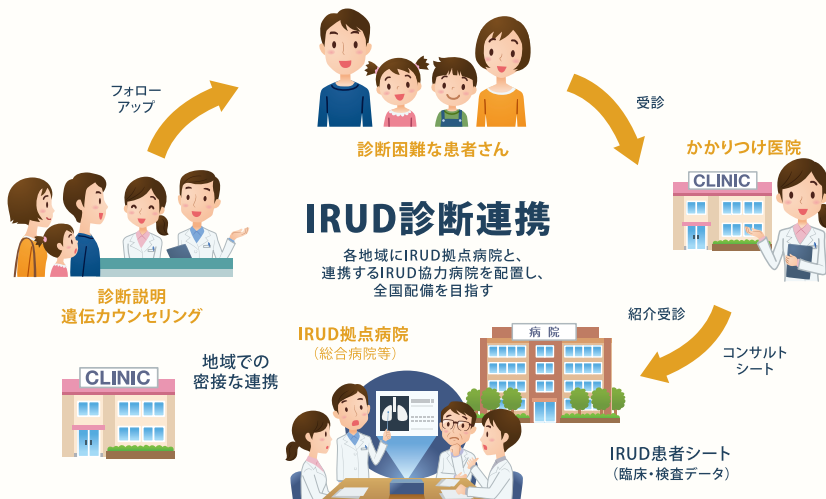
未診断疾患イニシアチブ (IRUD) とは

IRUDは、希少疾患や未診断疾患の患者さんに対して

体系的に診断する医療システム

患者情報を収集蓄積し開示するシステム

を確立することを目指しています。



【参考文献】

- 1) Kanzaki M, et al. A Development of Nucleic Chromatin Measurements as a New Prognostic Marker for Severe Chronic Heart Failure. PLoS One. 2016; 11(2): e0148209.
- 2) Higo T, et al. DNA single-strand break-induced DNA damage response causes heart failure. Nature Communications. 2017 in press.
- 3) Okada K, et al. Wnt/ β -Catenin Signaling Contributes to Skeletal Myopathy in Heart Failure via Direct Interaction With Forkhead Box O. Circ Heart Fail. 2015; 8(4): 799-808.
- 4) Oka T, et al. Mitochondrial DNA that escapes from autophagy causes inflammation and heart failure. Nature. 2012; 485(7397): 251-5.